

不祥事根絶のための行動計画

廿日市市立阿品台東小学校
作成責任者 校長 前田 静樹

- 1 私たちは、人を教育する者としてモラルをもった行動をします。
- 2 私たちは、子どもたちを守り、育てます。
- 3 私たちは、法令を遵守します。
- 4 私たちは、保護者・地域に信頼され、地域に開かれた学校にします。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の 規範意識 の確立	○主任を中心に、担当職員が資料を集め研修を進めたが、外部研修に出る機会が少なく、資料集めが大変である。 ○服務研修は「不祥事の根絶」冊子を使用し、同じ事例が何度も取り上げられている。	○服務研修の方法や内容等を見直し、自分自身を振り返る機会を設け、未然防止に向けた取組みに努める。 ○職員室や各学級の風通しのよい環境づくりに努める。	○日々の教育活動や職務遂行する中で、気づいたことや改善が求められると感じることについて、話し合う研修を設ける。 ○各学級に誰もが出入りできる環境やサポート体制を整える	○連絡会や不祥事防止委員会で、気になる点や改善点について、情報交換を行う。 ○学期に1回、チェックシートと服務内容や方法に関する自由記述アンケートを実施し、振り返る。
学校組織 としての 不祥事防 止体制の 確立	○教職員個人の技量に依存しがちである。 ○勤務時間外での打ち合わせが多く、時間確保が難しい。	○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにするとともに時間外勤務の縮減を図る。	○放課後の学級事務・学年会等、仕事時間やコミュニケーションをとる時間を保障する。 ○校務分掌で、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。 ○管理職による巡回・学級観察の定期的な実施を行う。	○月に1回、不祥事防止委員会で情報交換を行い、状況を把握する。 ○校長面談時のヒアリング（年3回） ○入校退校記録（毎月）
相談体制 の充実	○「ふれあい相談日」は設定されているが、教職員や子ども・保護者の意識や認知度が低い。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」について、学校便りを通じて周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。	○相談ポストの設置	○学期末に、児童・保護者・教職員へのアンケートを実施する。